

平成 27 年 2 月 5 日

日本調剤株式会社

花粉症経験者に聞いた『花粉症の実態と対策』 調査結果詳細

Q1 春夏秋冬のうちで、花粉症の症状が一番ひどい季節はいつですか。(回答は1つ)

花粉によるアレルギー症状の原因となる植物の花粉は一年中飛散している。そこで、花粉症経験者がどの季節に一番花粉症の症状がひどいかを聞いたところ、圧倒的に春(3月～5月)が多く85.1%の人が春に花粉症を発症している。

[表 1]花粉症の症状がひどい季節(単数回答)

	回答者数	%
TOTAL	1198	100.0
春(3月～5月)	1019	85.1
夏(6月～8月)	55	4.6
秋(9月～11月)	82	6.8
冬(12月～2月)	42	3.5

Q2 花粉症の症状としては、どのような症状がありますか。(回答はいくつでも)

花粉症で起こる症状のトップ5は、1位「目のかゆみ」(80.6%)、2位「くしゃみ」(72.6%)、3位「鼻づまり」(66.4%)、4位「水っぱな」(49.7%)、5位「鼻のかゆみ」(47.1%)となった。

[表 2]花粉症の症状(複数回答)

	回答者数	%
TOTAL	1198	100.0
目のかゆみ	966	80.6
くしゃみ	870	72.6
鼻づまり	795	66.4
水っぱな	596	49.7
鼻のかゆみ	564	47.1
頭がボーッとする	311	26.0
涙目	308	25.7
目の充血	287	24.0
のどの痛み・かゆみ	267	22.3
頭痛	170	14.2
皮膚のかゆみ	165	13.8
目やにが出る	154	12.9
倦怠感	137	11.4
咳	123	10.3
肌荒れ	123	10.3
眠気	91	7.6
発熱	37	3.1
その他	10	0.8

Q3 花粉症の治療には、病院に行きますか。(回答は1つ)

※病院には、病院、診療所、クリニックなどを含む医療機関全般でお答えください。

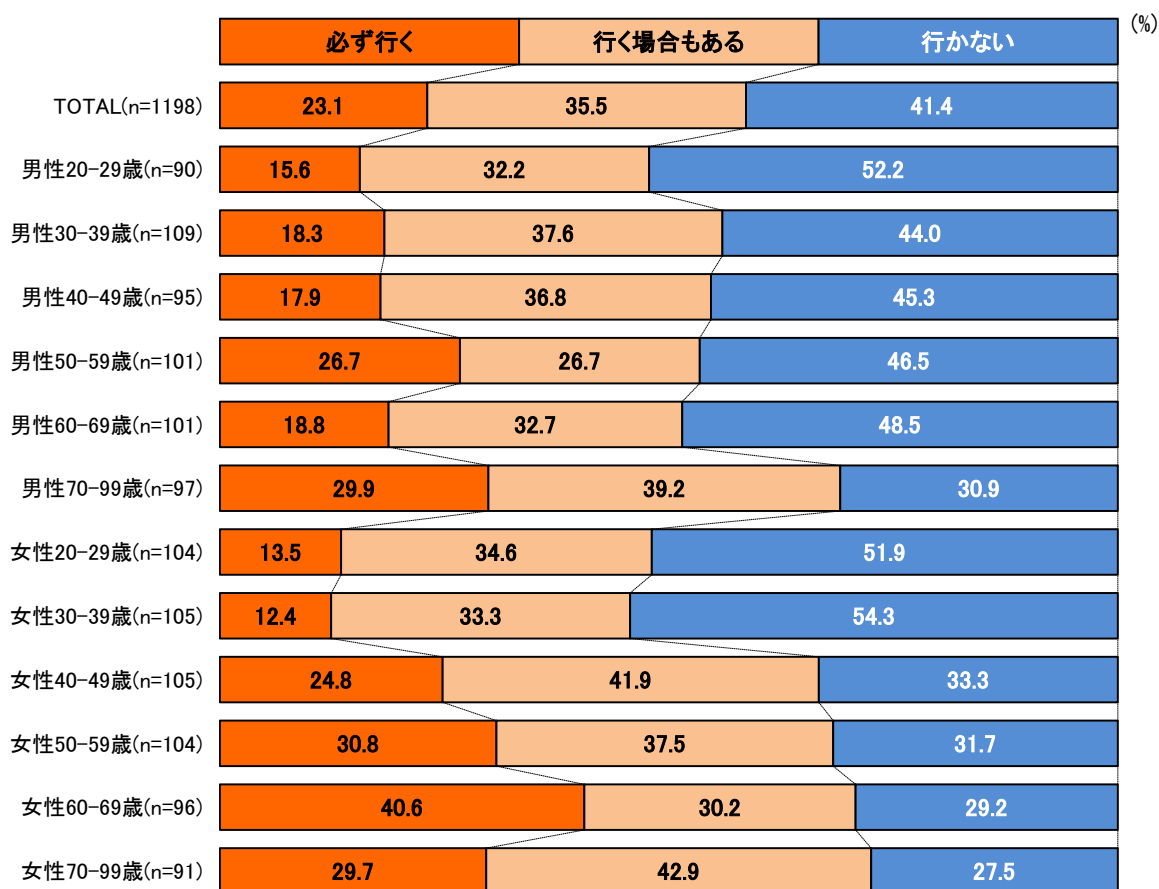
花粉症の治療で病院に行くかを聞いた結果、「必ず行く」は23.1%、「行く場合もある」も35.5%となり、6割近い人は花粉症で病院に行く模様。

性年代別でみると、最も『病院に行く(必ず行く+行く場合もある)』割合が高いのは、女性70代以上で72.6%。次いで女性60代70.8%、女性50代68.3%となった。一方、『病院に行かない』割合が最も高いのは女性30代で54.3%と半数以上が行かない。

[表3]花粉症の治療で病院に行くか(単数回答)

	回答者数	%
TOTAL	1198	100.0
必ず行く	277	23.1
行く場合もある	425	35.5
行かない	496	41.4

[図3]性年代別:花粉症の治療で病院に行くか(単数回答)



Q4 花粉症治療で病院に行った場合、診察費・治療薬費の自己負担は1回でいくぐらいかかりますか。

(回答は1つ)

※病院には、病院、診療所、クリニックなどを含む医療機関全般でお答えください。
 ※治療薬は、内服薬及び点眼薬、点鼻薬、軟膏などの外用薬を含めてお答えください。
 ※治療薬費は、調剤薬局での費用も含めてお答えください。

【回答者: Q3で「病院に行く」と回答した人】

花粉症治療で『病院に行く』と回答した人が1回の診察費や治療薬費でかかった費用は、「1000～2000円未満」が最も多く36.2%、次いで「2000～3000円未満」31.1%。男女とも70代以上の高齢者では「1000円未満」が最も多い。

[表 4-1] 病院での花粉症治療費(単数回答)

	回答者数	%
TOTAL	702	100.0
1000円未満	117	16.7
1000円～2000円未満	254	36.2
2000円～3000円未満	218	31.1
3000円～4000円未満	74	10.5
4000円～5000円未満	23	3.3
5000円～6000円未満	11	1.6
6000円～7000円未満	2	0.3
7000円～8000円未満	1	0.1
8000円～9000円未満	1	0.1
9000円～10000円未満	0	0.0
10000円以上	1	0.1

[表 4-2] 性年代別: 病院での花粉症治療費(単数回答)

	回答者数	1000円未満	1000円～2000円未満	2000円～3000円未満	3000円～4000円未満	4000円～5000円未満	5000円～6000円未満	6000円～7000円未満	7000円～8000円未満	8000円～9000円未満	9000円～10000円未満	10000円以上
TOTAL	702	16.7	36.2	31.1	10.5	3.3	1.6	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1
男性20-29歳	43	2.3	48.8	32.6	11.6	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性30-39歳	61	8.2	34.4	42.6	3.3	9.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性40-49歳	52	11.5	44.2	26.9	13.5	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
男性50-59歳	54	13.0	27.8	40.7	13.0	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
男性60-69歳	52	7.7	40.4	32.7	11.5	1.9	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性70-99歳	67	46.3	31.3	10.4	7.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20-29歳	50	16.0	42.0	28.0	10.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性30-39歳	48	10.4	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0
女性40-49歳	70	7.1	34.3	32.9	15.7	5.7	2.9	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
女性50-59歳	71	5.6	35.2	42.3	14.1	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性60-69歳	68	17.6	27.9	36.8	13.2	2.9	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
女性70-99歳	66	43.9	37.9	12.1	1.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q5 花粉症治療で病院に行かない理由はなんですか。(回答はいくつでも)

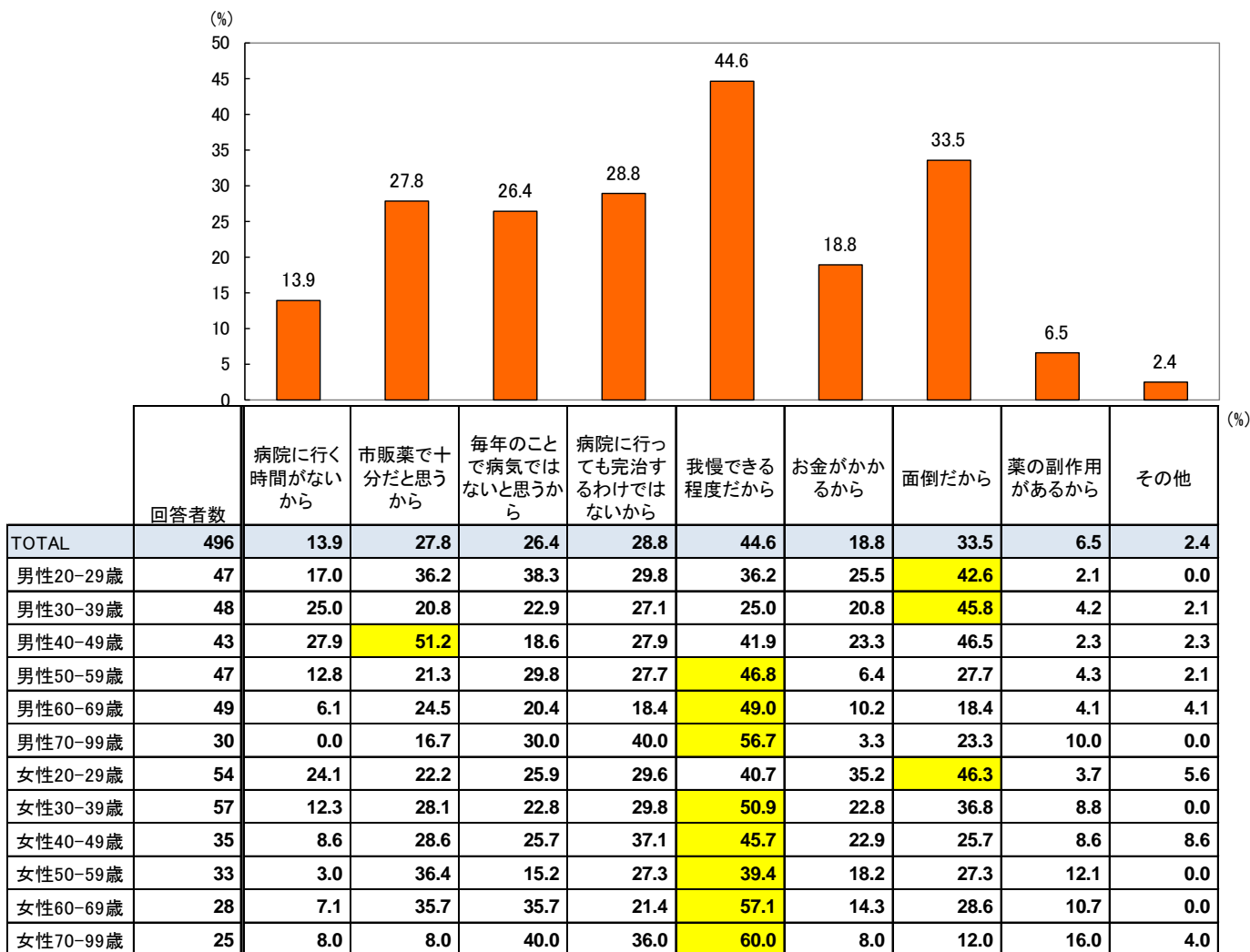
※病院には、病院、診療所、クリニックなどを含む医療機関全般でお答えください。

【回答者: Q3 で「病院に行かない」と回答した人】

花粉症治療に『病院に行かない』と回答した人の行かない理由で最も多いのは、「我慢できる程度だから」44.6%。次いで「面倒だから」(33.5%)、「病院に行っても完治するわけではないから」(28.8%)であった。

性年代別でみると、男性 20 代・30 代と女性 20 代の若い世代は「面倒だから」という理由が最も高い。

【図 5】性年代別：病院に行かない人の「行かない理由」(複数回答)



Q6 花粉症の治療薬(処方薬、市販薬を含む)を使用する場合、いつごろから使用しますか。(回答は1つ)

花粉症の治療薬を使用する人が、どのタイミングで使用するのかを聞いたところ、内服薬、外用薬ともに「花粉症の症状が出てから使用する」人が最も多く、内服薬は 29.6%、外用薬では 38.0%となった。次に多いタイミングは「花粉症の症状がひどい時だけ使用する」(内服薬:24.1%、外用薬:23.5%)で、症状が出てから治療薬を使用している人が半数以上となった。また、治療薬を使わない人も 1/4 以上存在。

[表 6]花粉症の治療薬を使用するタイミング(単数回答)

(上段:回答者数+下段:%)

	TOTAL	花粉症の症状が出る前から使用し始める	花粉症の症状が出てから使用する	花粉症の症状がひどい時だけ使用する	その他	花粉症の治療薬は使用しない
内服薬	1198 100.0	235 19.6	355 29.6	289 24.1	5 0.4	314 26.2
外用薬 (点眼薬・点鼻薬・軟膏など)	1198 100.0	134 11.2	455 38.0	282 23.5	7 0.6	320 26.7

Q7 花粉症の治療薬(処方薬、市販薬を含む)を使用した場合、どのような影響がありますか。(回答はいくつでも)

【回答者:Q6で内服薬・外用薬をそれぞれ「治療薬は使用しない」と回答した人除く】

治療薬によりどのような影響が出るかを聞いた、内服薬は「特に影響はない」が最も多く42.8%。次いで「眠気」(36.8%)、「口や目の渇き」(26.6%)、「ボーとする・集中力の低下」(24.7%)

外用薬では、8割以上が「特に影響はない」(81.7%)。

[表 7]花粉症治療薬の影響(複数回答)

(上段:回答者数+下段:%)

	TOTAL	眠気	ボーとする・集中力の低下	判断力の低下	倦怠感	口や目の渇き	その他	特に影響はない
内服薬	884 100.0	325 36.8	218 24.7	78 8.8	82 9.3	235 26.6	9 1.0	378 42.8
外用薬 (点眼薬・点鼻薬・軟膏など)	878 100.0	57 6.5	52 5.9	21 2.4	26 3.0	78 8.9	5 0.6	717 81.7

Q8 使用している治療薬(処方薬、市販薬を含む)には満足していますか。(回答は1つ)

※治療薬は、内服薬及び点眼薬、点鼻薬、軟膏などの外用薬を含めて、治療薬全体についてお答えください。

【回答者:Q6で内服薬・外用薬のいずれかを「使用している」と回答した人】

使用している治療薬に対して、「満足している」人は10.0%、「やや満足している」人が44.5%となったが、半数近くの人は治療薬に満足感を得ていない模様。

[表 8]治療薬の満足度(単数回答)

	回答者数	%
TOTAL	992	100.0
満足している	100	10.0
やや満足している	440	44.5
どちらともいえない	347	35.0
やや不満がある	88	8.8
不満がある	17	1.7

Q9 花粉症の治療薬を使用して何らかの影響が出た場合、医師や薬剤師に相談しますか。(回答は1つ)

※治療薬は、内服薬及び点眼薬、点鼻薬、軟膏などの外用薬を含めてお答えください。
 ※これまで薬の影響が出たことがない方は、影響が出た場合を想定してお答えください。

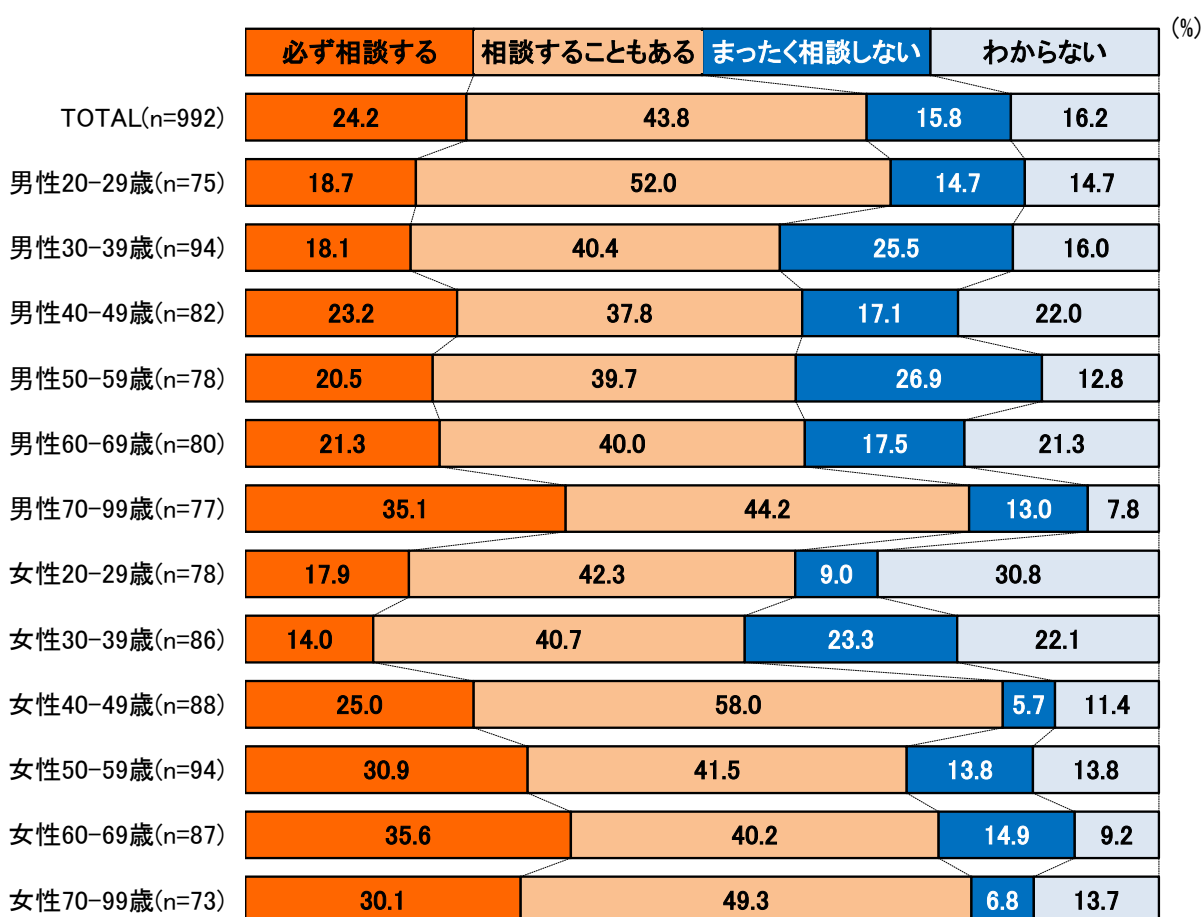
【回答者: Q6 で内服薬・外用薬のいずれかを「使用している」と回答した人】

花粉症の治療薬で影響が出た場合、医師や薬剤師に相談するかを聞いたところ、「必ず相談する」人が24.2%、「相談することもある」は43.8%となり、7割以上の方が相談する模様。

性年代別でみると、相談する(「必ず相談する」+「相談することもある」)人が最も多いのは女性40代で83.0%、次いで女性70代以上(79.4%)、男性70代以上(79.3%)、女性60代(75.8%)の順。

一方、「まったく相談しない」人が最も多いのは、男性50代で26.9%。次いで、男性30代(25.5%)、女性30代(23.3%)であった。

【図9】性年代別：治療薬の影響に対する、医師や薬剤師への相談(単数回答)



Q10 花粉症対策として、治療薬の使用以外で日ごろから行っている対策はありますか。主に行っている対策を3つまでお答えください。(回答は3つまで)

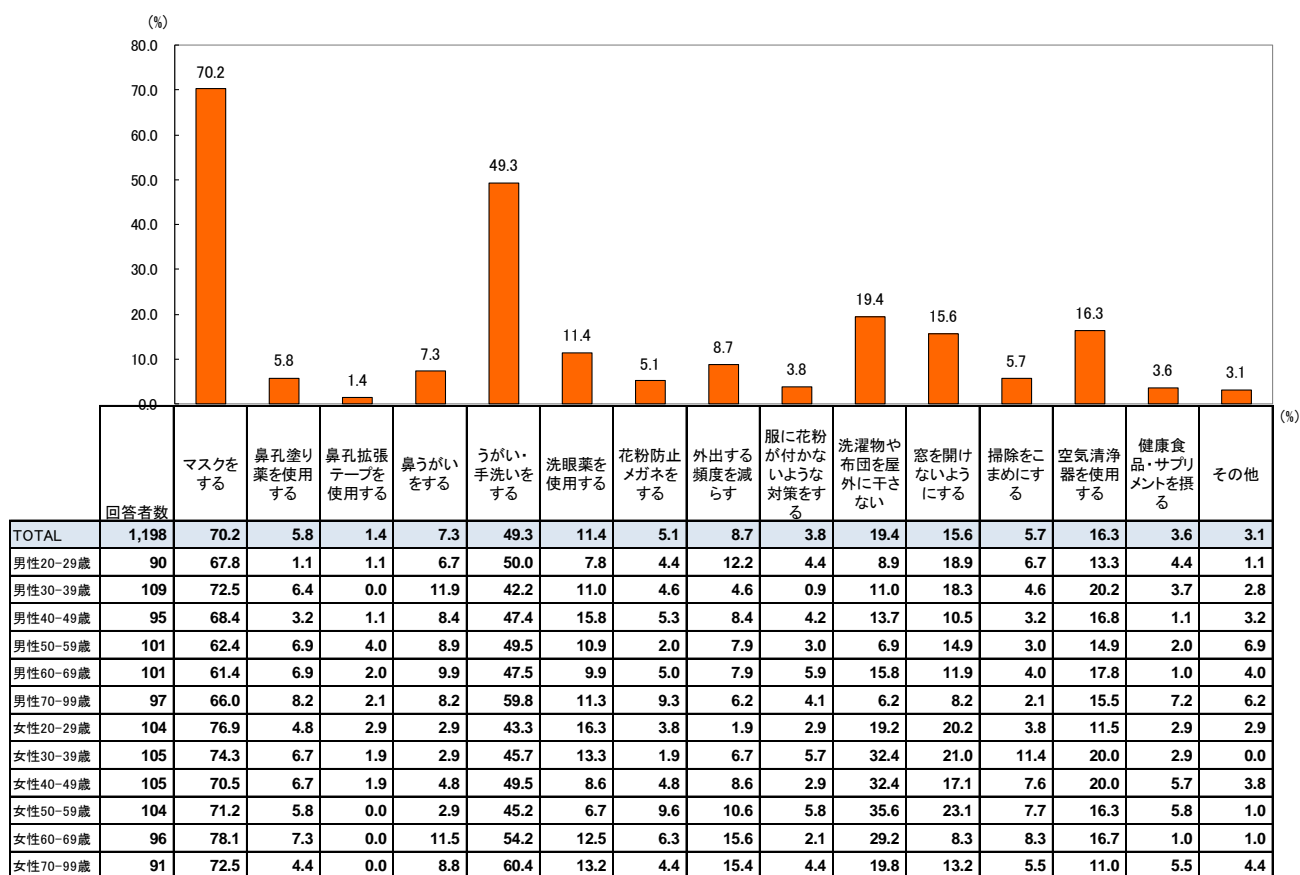
花粉症対策で治療薬の使用以外に行っている対策を聞いた結果。最も多いのは「マスクをする」で70.2%、次いで「うがい・手洗いをする」(49.3%)、「洗濯物や布団を屋外に干さない」(19.4%)、「窓を開けないようにする」(15.6%)であった。

性年代別でも対策方法に大きな違いはなく、やはり、まずは花粉が体に入らないように、マスク、うがい・手洗いが基本的な対策なのだろう。

[表 10] 治療薬以外の花粉症対策(回答は3つまで)

	回答者数	%
TOTAL	1198	100.0
マスクをする	841	70.2
鼻孔塗薬を使用する	69	5.8
鼻孔拡張テープを使用する	17	1.4
鼻うがいをする	87	7.3
うがい・手洗いをする	591	49.3
洗眼薬を使用する	137	11.4
花粉防止メガネをする	61	5.1
外出する頻度を減らす	104	8.7
服に花粉が付かないような対策をする	46	3.8
洗濯物や布団を屋外に干さない	233	19.4
窓を開けないようにする	187	15.6
掃除をこまめにする	68	5.7
空気清浄器を使用する	195	16.3
健康食品・サプリメントを摂る	43	3.6
その他	37	3.1

[図 10] 性年代別: 治療薬以外の花粉症対策(回答は3つまで)



【本件に関するお問い合わせ】

日本調剤株式会社 広報部 広報担当

TEL:03-6810-0826 FAX:03-3201-1510

E-Mail:pr-info@nichou.co.jp